

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年2月12日

事業所名: もものこ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	備品の配置などのスペースが確保できるよう工夫している。	少し狭いと感じる、体を動かすには少し狭いかもしれないが玩具で遊んだりするスペースは確保されている。 (はい4、どちらともいえない1、いいえ1、わからない2)	物の配置など工夫し、安全に過ごせる空間を確保していく。
	2 職員の適切な配置	基準人員を常に満たすように欠員時は代わりを置いている。	充実している。 (はい6、わからない2)	より安全に療育が出来るように必要に応じて配置を考える。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーとなっている。	部屋の近くにトイレがあるのが良い。 (はい5、どちらともいえない1、わからない2)	より子どもが過ごしやすい環境を整えていくだけでなく、物品を整理し危険のないようにしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃し、アルコール除菌の徹底・換気・空気清浄機や加湿器、スチームモップなどを活用している。	清潔にしているが活動スペースが狭い。 (はい5、いいえ1、わからない2)	清潔を保ち、安心して過ごせる環境作りを行なっていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	年一回、事業計画を共有する機会を設けるほか、適宜話し合う機会を設けている。		今後も実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		必要に応じて検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的な社内研修だけでなくオンラインによる研修に適宜参加している。		専門性を高める勉強会を実施していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員全員がアセスメントし、保護者からも話を聞いて情報を共有している。	作成されています。 (はい7、記入なし1)	アセスメントをより丁寧にして、共有を密にして計画に活かしていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別に関してはハピリや製作をおこなっており集団活動は歌や絵本、行事ごとのイベントなどを行っている。	作成されています。 (はい7、記入なし1)	個々に応じて個人活動・集団活動を検討していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員間で内容を確認して設定している。	設定されています。 (はい8)	ガイドラインの再確認を行う。地域支援の観点をより深めていく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員間で確認して共通の認識を持ち、実行している。	きちんと行われています。 (はい7、わからない1)	適宜見直ししながら支援していく。工夫を凝らして個性も高めていく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員全員で話し合う様にしている。		その日のメンバーに応じて集団、個別支援プログラムを実施していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	祝日や長期休暇中も営業している。		現在の営業を継続していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節を感じられる製作や絵本、遊びを行っている。	毎回いろんな工作をつくってもってかえてきてくれます。 (はい5、どちらともいえない1、わからない2)	季節に応じたや屋外での⑦活動などより良いプログラムを提供できるように工夫する。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日ミーティングを行い確認している。		継続して時間を確保していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	全員ではないが、顔を合わせた職員同士毎で実施し、それを全員で共有するようにしている。定期的にスタッフで集まり情報共有している。		日々、全員でできるよう時間を確保していく。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	職員全員がしっかりと記録をとるように意識している。		記録を取るだけでなく内容を詳細に振り返りのできるものにしていく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリング毎に子供・保護者の希望を反映するようにしている。		必要に応じて頻回に見直ししていく。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	管理者・看護師が参加している。		記録の重要性を意識し、どの職員が参加しても同じ内容を言えるよう情報共有をしていく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	サマリーや電話で情報共有している。		更なるコンタクトを図っていく。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	提携医の往診や他病院のサマリー、併設の訪問看護の指示書を通してやりとりしている。		より密に連絡が取れるよう整備していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	会議を行い情報共有している。		これからも都度会議を行なっていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	中枢施設と電話連絡や直接訪問したり実施されている研修に参加している。		より一層連絡を取りながら研修の参加を増やしていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	保護者に同意を得たうえで、児童館等へ行くこともある。	屋外の施設に連れてってもらっている。(はい1、どちらともいえない1、いいえ5、わからない1)	安全確保のため少人数の時に限るが児童館等に行くことを検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナやインフルエンザ等の感染症リスクの軽減等の為に実施していない。		感染症の状況に応じて実施できるように検討していきたい。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	管理者から個々の保護者へ説明をしている。自己負担は請求書・領収書を渡すようにしている。	はい。 (はい7、どちらともいえない1)	支援内容の確認や支援した結果などの話を定期的に行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングを行い反映させた計画書を作成している。	分かりやすくされました。(全員はい)	理解していただけるよう丁寧な説明を行う。また必要に応じて見直しを行えるようコミュニケーションを図る。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者との会話の中で必要に応じてアドバイスをしながら実施している。	はい2 どちらともいえない2 いいえ2 わからない2	これまで以上に支援を増やしていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	来所時や送迎時に必ずその日の状況などの話しをしている。ノートや連絡帳アプリ(CoDMON)でもやり取りをしている。	とても理解してくれています。 (はい7、どちらともいえない1)	利用時だけでなく必要に応じて電話や連絡帳アプリでも情報の共有を図っている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	思いを話して下さる中で傾聴しながら、色々な職員からアドバイスを行っている。	相談は訪問看護サービスのときにしてもらっています。 (はい5、どちらともいえない1、いいえ2)	小さな疑問や悩みでも聞き逃さず、スタッフ間で共有し、話し合いを行い、適切に返答できるように対応する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会はない。個々の親が顔を合わせる中で交流を持っている。	ないです。 (はい1、どちらともいえない2、いいえ3、わからない2)	会はなくとも、より多くの方達が繋がれるよう支援していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	早急に職員全員で共有し、迅速に対応するように心掛けている。	はい4 どちらともいえない1 いいえ1、 わからない2	早急に職員全員で共有し、迅速に対応するとともに周知徹底していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子供の意思表示をくみ取れるよう細かく様子を見て伝えるようにしている。	はい7 どちらともいえない1	意思疎通が円滑になるよう個々の配慮を更に検討していく。 表情変化などを見逃さずに見られた反応を家族様と共有していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会社として発行している。連絡の手段にLINEなども利用している。	会報が発信されています。 (はい5、どちらともいえない1、わからない2)	より分かりやすいよう写真などを用いるなど伝え方を工夫する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	書類などは整理しながら一元管理している。	はい7 わからない1	個人情報の取り扱いについて、書類以外にも会話の中などでも注意していくよう、周知徹底を図る。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成しており適宜更新している。	感染症マニュアルについては、その都度変更があれば配布されている。(全員はい)	適宜更新し、保護者にも周知徹底していく。紙での配布も継続する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年間計画に組んで実施している。保護者は参加していない。	はい6 どちらともいえない1 いいえ1	色々な状況を想定し訓練を実施する。また訓練内容の保護者への説明や保護者も交えた訓練の実施も検討していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	勉強会を開催している。社外研修にも可能な限り参加している。		職員全員で研修参加時は伝達講習を行い共有していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要に応じて説明の実施や支援計画への記載を行なっている。		今後も継続する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	フェイスシートや医師の指示書を基に、必要に応じて緊急時の対応表に記載している。		家族や医師と定期的に情報共有を行い、見直しを行い、適切な対応を取れるようスタッフ間でも共有する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	多くの事例を挙げてもらい、会議の場で共有・対応を話し合っている。		今後も継続する。